



## 平成27年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年7月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マルマエ

コード番号 6264 URL <http://www.marumae.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 前田 俊一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 藤山 敏久

TEL 0996-64-2900

四半期報告書提出予定日 平成27年7月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年8月期第3四半期の業績(平成26年9月1日～平成27年5月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第3四半期	1,582	33.2	311	49.9	304	53.3	316	51.9
26年8月期第3四半期	1,188	31.1	207	74.0	198	56.5	208	67.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第3四半期	180.35	128.52
26年8月期第3四半期	119.33	84.56

(注)当社は、平成26年3月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年8月期第3四半期	2,018	472	23.4
26年8月期	1,765	396	22.4

(参考)自己資本 27年8月期第3四半期 472百万円 26年8月期 396百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年8月期	—	0.00	—	—	—
27年8月期(予想)	—	—	—	36.00	36.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成27年8月期の業績予想(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	32.5	400	49.5	385	50.6	395	30.6	224.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年8月期3Q	1,865,400 株	26年8月期	1,854,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年8月期3Q	109,447 株	26年8月期	109,447 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年8月期3Q	1,753,820 株	26年8月期3Q	1,744,600 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)当社は、平成26年3月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れ懸念が残る一方で、雇用・所得環境の改善傾向が続くなか、原油価格下落の影響や各種政策の効果もあり、個人消費をはじめ生産や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど緩やかな回復基調が続きました。

当社の主な販売分野である半導体業界におきましては、スマートフォンやタブレットPC等の携帯端末を中心としながらも幅広い分野向けに需要が増加したことから、半導体製造装置の需要も堅調に推移しました。FPD業界におきましては、中国を中心にテレビ向けの液晶パネルに関連する設備投資再開の動きをはじめ、中小型液晶パネル向けの設備投資へも回復傾向が鮮明となりました。

当社は、このような経済状況のもと、市場環境が好調を維持する半導体製造装置顧客内におけるシェア拡大に注力し、需要拡大に合わせて生産設備増強や流動的人材の活用で生産体制の強化を図ることで売上高は好調に推移しました。FPD分野では、当社顧客の受注停滞に伴い低迷が続きましたが、当第3四半期より回復し始めました。その他分野におきましては、新型スマートフォンに関連した製造装置部品及びユニットのリピーター受注が続くなど好調を維持しました。損益面では、受注品種の変化と外注活用の方針により、変動比率は増加しながらも、売上高増加と生産性向上により営業利益は前年同期を大きく上回りました。なお、期首の見込み通りではありますが「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業に係る補助金」により特別利益が15百万円発生しております。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高が1,582百万円(前年同期比33.2%増)、営業利益は311百万円(前年同期比49.9%増)、経常利益は304百万円(前年同期比53.3%増)、四半期純利益は316百万円(前年同期比51.9%増)となりました。

なお、当社は精密切削加工事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

前事業年度末に比べ、252百万円増加し2,018百万円となりました。主な内容は、現金及び預金が35百万円、受取手形及び売掛金が142百万円、たな卸資産が46百万円、有形固定資産が58百万円増加、電子記録債権が22百万円減少したこと等によるものであります。

## (負債)

前事業年度末に比べ、176百万円増加し1,546百万円となりました。主な内容は、買掛金が21百万円、1年内返済予定の長期借入金が126百万円、その他流動負債が78百万円増加、長期借入金が57百万円減少したこと等によるものであります。

## (純資産)

前事業年度末に比べ、76百万円増加し472百万円となりました。主な内容は、四半期純利益の計上により利益剰余金が176百万円増加、A種優先株式の取得と消却等に伴い資本剰余金が103百万円減少したこと等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の22.4%から23.4%となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績は好調に推移していることから、平成27年6月5日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて通期業績予想を修正しております。

売上高は、FPD分野において当初想定以上の売上高が計上される見込となったほか、半導体分野とその他分野においても受注が好調に推移していることから増額修正いたしました。損益面は、売上高増加を主因として、営業利益、経常利益、当期純利益は、それぞれ100百万円増加となる見通しです。

なお、平成27年8月期における1株当たり配当予想につきましては、平成27年1月末日をもって事業再生計画を終結したこと、第3四半期までの利益状況等を鑑みて、1株当たり36円00銭の普通配当を実施することといたしました。詳細に関しましては、本日公表いたしました「平成27年8月期配当予想の修正(初配)に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	162,658	198,424
受取手形及び売掛金	506,643	649,417
電子記録債権	142,124	119,997
商品及び製品	18,294	27,632
仕掛品	66,937	101,675
原材料及び貯蔵品	44	2,349
その他	11,404	5,797
貸倒引当金	△1,651	△3,875
流動資産合計	906,455	1,101,419
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	280,256	278,987
構築物(純額)	4,326	3,610
機械及び装置(純額)	265,052	295,841
車両運搬具(純額)	1,870	6,791
工具、器具及び備品(純額)	2,807	3,817
土地	289,783	289,783
建設仮勘定	1,663	24,938
有形固定資産合計	845,760	903,770
無形固定資産	5,413	5,729
投資その他の資産	8,123	7,244
固定資産合計	859,297	916,744
資産合計	1,765,753	2,018,164
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,949	57,542
1年内返済予定の長期借入金	12,655	138,996
未払法人税等	3,713	4,753
受注損失引当金	800	7,200
その他	84,984	163,270
流動負債合計	138,101	371,761
固定負債		
長期借入金	1,229,817	1,172,256
退職給付引当金	—	444
資産除去債務	1,613	1,624
その他	143	—
固定負債合計	1,231,573	1,174,324
負債合計	1,369,675	1,546,086

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	133,000	135,850
資本剰余金	123,000	19,850
利益剰余金	140,111	316,412
自己株式	△34	△34
株主資本合計	396,077	472,078
純資産合計	396,077	472,078
負債純資産合計	1,765,753	2,018,164

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日)
売上高	1,188,738	1,582,985
売上原価	842,902	1,111,758
売上総利益	345,835	471,226
販売費及び一般管理費	137,978	159,671
営業利益	207,856	311,555
営業外収益		
受取利息	43	34
為替差益	1,631	6,427
その他	615	973
営業外収益合計	2,289	7,435
営業外費用		
支払利息	11,447	14,602
その他	216	171
営業外費用合計	11,664	14,774
経常利益	198,482	304,216
特別利益		
固定資産売却益	2,152	-
補助金収入	10,000	15,000
特別利益合計	12,152	15,000
特別損失		
固定資産除却損	5	465
特別損失合計	5	465
税引前四半期純利益	210,628	318,751
法人税、住民税及び事業税	2,450	2,450
法人税等合計	2,450	2,450
四半期純利益	208,178	316,301

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成27年5月14日開催の臨時株主総会において、資本準備金の額の減少の件が承認可決されたため、会社法第448条第1項の規定に基づき、同日付で資本準備金106,000千円を取崩し、その他資本剰余金へ振り替えました。

また、平成27年5月14日開催の取締役会において、A種優先株式246株に関して、自己株式の取得及び消却を決議し、平成27年5月29日に実施いたしました。この結果、当第3四半期累計期間において資本剰余金が106,000千円、利益剰余金が140,000千円減少、自己株式が246,000千円増加及び減少し、当第3四半期会計期間末において資本剰余金は19,850千円となっております。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自平成25年9月1日至平成26年5月31日)及び当第3四半期累計期間(自平成26年9月1日至平成27年5月31日)

当社は、精密切削加工事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。